

対策の概要

対策分類	省エネルギー行動の実践
対策名称	施設での省エネルギー対策
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備機械の時間差稼働による負荷集中の緩和 ・ 未稼働の設備機械の主電源オフの徹底 ・ 各施設の電力管理システムにデマンドを設置して管理 ・ 未使用ヤードの証明オフの徹底 ・ 室内温度設定、夏季28℃、冬季20℃の徹底
対策導入経緯	東日本大震災以降、輪番停電を体験して、電気料金の値上げに対応すべき電気使用量の削減が急務となり、同時に環境関連企業として、地球温暖化防止対策は企業として取り組むべき事との認識が定着した。

温室効果ガス削減目標値設定

対策導入による電気使用量及び燃料削減量に二酸化炭素の排出係数を乗じて温室効果ガス排出削減量を計算する。
削減した燃料ごとに温室効果ガス排出削減量を計算する

■ 温室効果ガス排出削減量 (tCO₂) = ① + ②

[対策前の電気使用量 (kWh) - 対策後の電気使用量 (kWh)] × 電気のCO₂排出係数 (tCO₂/kWh) ①

[対策前の燃料使用量 (MJ) - 対策後の燃料使用量 (MJ)] × 標準発熱量 (MJ/ℓ) × 燃料のCO₂排出係数 (tCO₂/MJ) ②

今年度は、昨年（2013年度）年間電気使用量 417,864Kw を **3%削減**、及び年間軽油使用量をより547,978ℓを **1%削減**した場合を想定すると削減目標値は下記のように計算される。

電気使用量 (kWh/年)		排出係数 (tCO ₂ /kWh)	削減量 (tCO ₂)
対策前	対策後		
417,864 kWh	405,328 kWh	0.469 × 10 ⁻³	5.2

燃料使用量 (kℓ/年)		軽油発熱量 (MJ/ℓ)	排出係数 (tCO ₂ /MJ)	削減量 (tCO ₂)
対策前	対策後			
548 kℓ	543 kℓ	37.8	68.7 × 10 ⁻³	12.9

■ 2013年度 温室効果ガス排出削減目標値 (tCO₂) = 18.1 tCO₂

<出典・計算根拠>

「環境省 温室効果ガス排出量算定に関する検討結果 第1部、平成18年」